

関東学院大学

理工学部・理工学科



土木学系

土木・都市防災コース

Civil Engineering Course

私たちと共に学ぼう



イベント紹介



勉強ばかりじゃない！
定期的に学生会や
研究室主催のイベント
が開催されます！



学生会主催BBQ

夏は学生会主催のBBQがあり
ます！スイカ割りもやって、みんな
で楽しい夏の思い出作り♪
全学年参加できるので、先輩後輩、
いろんな人と交流できます。

国内土木施設研修

1泊2日で見学に行く研修で、去年
は黒部ダムに行きました！何百段
も階段を登ったりと、とても疲れ
ますが、これも楽しい思い出の一
つ。何よりスケールの大きいもの
が見れて楽しいです！



1年生

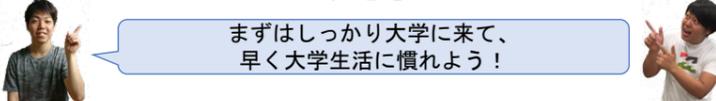
みなとみらいで入学式



現場見学

(2018年は横浜環状南線、栄JCT)

1年生はとにかく**基礎知識**を学びます。
マイクロメーターやノギス等、計測機器も初めて触るものばかりなので、使い
方を習います。また、学校での授業だけではなく**現場見学会**もありますよ！
始めての現場見学で、土木構造物の**大きさ**を実感できます。



まずはしっかり大学に来て、
早く大学生活に慣れよう！

2年生

専門科目入門編(地盤・構造・水理・防災)



1年生の頃と違って土木の
知識の基礎作りをするよ！



測量学・測量実習

測量は土木技術者に必要な
スキルの一つ。
「座学+実習」で測量を
マスターしよう！

土木系女子学生の会 どぼじよ



幼稚園児～中高生を対象に、土木分野に興味を
持ってもらえるような活動を行っています！



どろ団子教室

ソイルタワー
コンテスト

液状化対策
選手権

どぼじよ Q & A

土木学科に入学したいけど、
女子っているのかな



ここ10年くらいは1学年に1割くらいの割合
でいるよ！それに、助手の先生は全員女性
だから心強いよ！あと、どぼじよの活動
を通して先輩や後輩とも仲良くなれるから
安心♪

土木って力仕事が多いんで
しょ？
私に出来るかなあ？

そんなこと心配しなくても大丈夫！
最近はAIの発達やICTの導入によって様々な作業が自動化されてきて
いるから、女性でも仕事の幅が広がっているよ！そして就職先もゼネ
コン・コンサル・公務員と、自分に合う仕事が見つけれられるよ！

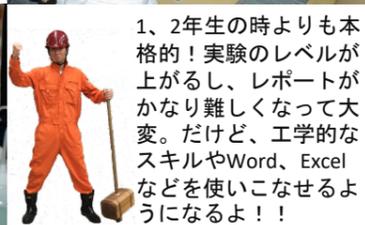
3年生

都市防災実験

講義と違って少人数で実験する
から、今まで話していなかった
友達とも仲良くなります。研究
室配属前にいる人々と話せる
ようになりますよ！



土木の専門的な実験



1、2年生の時よりも本
格的！実験のレベルが
上がるし、レポートが
かなり難しくなって大
変。だけど、工学的な
スキルやWord、Excel
などを使いこなせるよ
うになるよ！！

研究室配属

卒業までの1年半、仲間たちと
一緒に研究を行います。



プライベートでもみんなと一緒に
ディズニーに行ったよ！

4年生

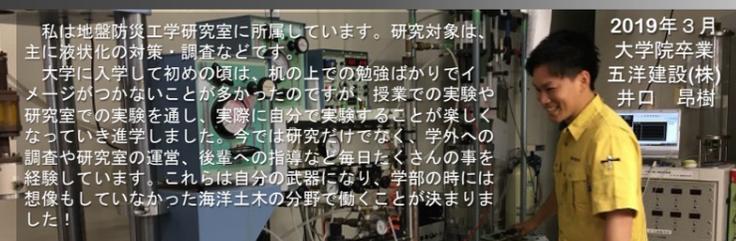
卒業研究・卒研発表会

大学生の集大成！！4年生になると講義がほとんどなく、
卒業に向けて各研究室で研究に励むよ！



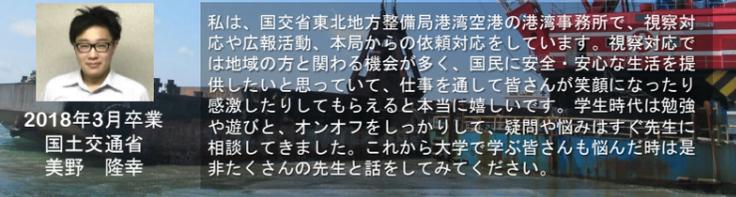
先生や在校生の前で
行う卒業研究発表会は
すごく緊張！

大学院生・卒業生からのメッセージ



私は地盤防災工学研究室に所属しています。研究対象は、
主に液状化の対策・調査などです。
大学に入学して初めての頃は、机の上での勉強ばかりでイ
メージがつかないことが多かったのですが、授業での実験や
研究室での実験を通して、実際に自分で実験することが楽しく
なっていきました。今では研究だけでなく、学外への
調査や研究室の運営、後輩への指導など毎日たくさん
の事を経験しています。これらは自分の武器になり、学部
の時には想像もしていなかった海洋土木の分野で働くこと
が決まりました！

2019年3月
大学院卒業
五洋建設(株)
井口 昂樹



私は、国交省東北地方整備局港湾空港の港湾事務所、視察対
応や広報活動、本局からの依頼対応をしています。視察対応
では地域の方と関わる機会が多く、国民に安全・安心な生活を提供
したいと思っています。仕事を通して皆さんが笑顔になったり
感謝したりしてもらえるのが本当に嬉しいです。学生時代は勉強
や遊びと、オンオフをしっかりとって、疑問や悩みはすぐ先生に
相談してきました。これから大学で学ぶ皆さんも悩んだ時は是非
たくさん先生の話をしてみてください。

2018年3月卒業
国土交通省
美野 隆幸

私は今、高速道路の建設工事を行っています。
主な業務内容は測量、安全管理、写真管理が今
の仕事です。多くの方と日々関わりながら一つ
の物を作る事、また多くの人の暮らしを支える
仕事なのでとてもやりがいのある仕事です。

2018年3月
大学院卒業
(株)熊谷組
須藤 公介

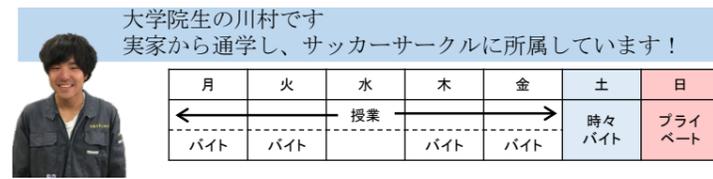
大学では基礎から学ぶため、土木を知らない人
でも問題ありません。また、3・4年次には研究
室に所属して研究を行うため、問題解決能力な
ど身につく事がたくさんあります。大学院では
研究を行いながら専門知識を更に学び、学会で
の発表もするため、プレゼン能力なども磨かれ
ます。その他にも、後輩達の研究も見るので人
を管理するマネジメント能力、スケジュール管
理能力を身につける事が出来ました。施工管理
の仕事は人を動かす仕事なので大学院での経験
が生きていると感じます。

私は下水道整備に関する仕事で、内容は
測量、現場の資材管理、安全・品質管理
を行っています。土木工事は建設物の設
計から工事までの様々な職種の人が関り
協力して作りあげます。現場で問題が起
きた時、皆が一丸となって知恵を出し合
い、解決できた時が一番面白くてやりが
いを感じます。

2016年3月卒業
佐藤工業(株)
萩原 奈々

日々の業務の中で、大学で学んだ基礎が
あってよかったといつも実感しています。
研究室に配属されると土木業界と関わっ
ている方と接する機会も沢山あるので、
社会人になるまでのステップアップに繋
がると思います。

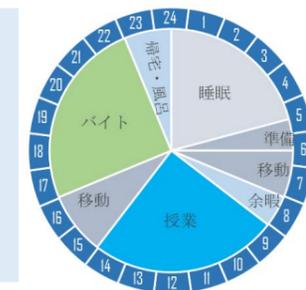
教えて！学生の生活スタイル



大学院生の川村です
実家から通学し、サッカーサークルに所属しています！

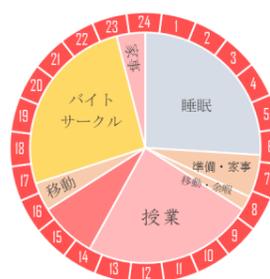
月	火	水	木	金	土	日
←		授業		→	時々 バイト	プ ライ ベ ート
バイト	バイト		バイト	バイト		

授業で小テストがあり、家が遠く
時間を勉強時間にしていました。
1年生のときは、1限が多くて起
きるのが辛かったけど2年生からは
1限も少なくなって、朝の時間に余
裕ができました。
サークルやバイトもしてるけど、
休日や長期休暇は地元の友達と旅行
に行ったりと充実してます！！



大学院生の小林です
学部の時は一人暮らしをしながらサークル活動に励んでいました！

月	火	水	木	金	土	日
←		授業		→	サークル	サークル
サークル	バイト	バイト	サークル	バイト	バイト	バイト
1~3年						
4年	←	バイト	授業	→	バイト	バイト



私はサークルに入ってたので3年の秋
まで平日は練習、土日・長期休暇は遠征
があり、サークルがない日はバイトや友
達と出かけたりして、勉強は余暇の時
とお昼休みにしていました。
一人暮らしだと忙しいときご飯を作る
のが意外と大変なので、まかない付きの
バイトはオススメです！

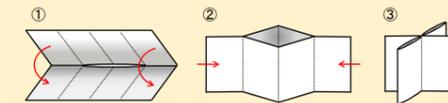
Kanto Gakuin University Access Information

関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス
〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1

- ◆ 京急線・シーサイドライン「金沢八景駅」より徒歩約15分
- ◆ 京急線「追浜駅」より徒歩約10分
- ◆ 「金沢八景駅(関東学院循環)」バス停より 京急バスで約5分
「関東学院正門」バス停下車



◆パンフレットのたたみ方



関東学院大学HP <http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/>
理工学部HP <http://rikou.kanto-gakuin.ac.jp/>



【表紙写真】高瀬ダム(長野県大町市)
高瀬ダムは「ロックフィルダム」という種類の、発電専用のダム。岩を一つ一つ積み上げてできていて、
高さはなんと176mとロックフィルダムとしては日本一の高さを誇る。

耐風・風工学

台風や竜巻などによる強風災害や風環境や風力エネルギーなど風に関する基礎知識を学び、問題について考える分野。

◎研究テーマ

- ・ 風洞実験による建造物の耐風性能の向上
- ・ ビルや空力騒音などの都市の風環境問題

様々な人と関わり 柔軟な思考を持ってもらいたい

理工学部がある金沢八景キャンパスでは、同じキャンパス内に経済、建築・環境、教育、看護、人間環境、栄養といった様々な学部が存在します。授業や部活・サークルなどで多くの人と関わり、大学生活を楽しむ中で、豊かな人間性を育ててください。



中藤誠二 教授

地盤防災工学

地盤の液状化や斜面崩壊など、地震時の地盤災害のメカニズムを学び、被害の予測と対策のための調査法、設計法、施工法を学ぶ分野。

◎研究テーマ

- ・ 地震時における地盤の液状化に関する研究
- ・ 災害を防ぐための地盤調査法と対策工法に関する研究

自分の大切な人や社会の 安全を守る仕事

私は学生の頃は決して優等生ではありませんでした。しかし、今学んでいることが社会の役に立つとわかった瞬間、勉強や研究が面白くなりました。きっかけは人それぞれですが、自分が学んでいることに意義を見つければ、世の中や考え方が大きく変わりますよ。



規矩大義 教授

耐震工学 構造動力学

地震に強い街づくりのため、建造物の振動の様子や仕組みを理解し、建造物の損傷を軽減するための耐震・免震・制震技術について考える分野。

◎研究テーマ

- ・ 土木建造物の耐震・免震・制震システムの研究
- ・ 社会基盤施設の災害予測と減災システム技術の研究

横浜の象徴といえば、 鶴見つばさ橋とベイブリッジ

横浜の土木建造物といえば、やはり鶴見つばさ橋とベイブリッジですね。特に首都高の生麦JCTと大黒ふ頭間の地点では、好対照な二つの橋に加え、横浜の近代的な町並みが一度に見ることができ、土木の魅力を感じることができますよ。ぜひ行ってみたいかがでしょうか。



北原武嗣 教授

環境工学

生活に欠かす事のできない上下水道。その仕組みや技術を学ぶだけでなく、集中豪雨時の浸水被害などの様々な問題や水資源の利用、水環境の保全について学ぶ分野。

◎研究テーマ

- ・ 水の安全に関する研究
- ・ 身近な化学物質のリスク管理に関する研究

自分の役割を見つけて 立派な技術者に成長してほしい

日本の土木は、「ものづくり」から「社会を維持する仕事」に変わりつつあります。それを踏まえた上で興味をもてる人には、これほどやりがいのある仕事は他にないでしょう。「自分の仕事が世の中に必要なんだ！」という強い使命感と責任を持った技術者になってもらいたいです。



鎌田素之 准教授

「大切な人、大切なもの、日々の暮らしを自然災害から守りたい。」

「土木」は、単に大規模な建造物を造るだけの分野ではありません。安全で豊かな都市を計画し、それを実現する分野であり、その根本には「快適で安心できる生活を送るには?」、「大切な人の命を守るには?」といった思いがたくさん詰まっています。

「土木」では、社会基盤を計画、設計、構築するための技術力はもちろんのこと、発想力、コミュニケーション能力なども必要となります。

土木・都市防災コースでは、4年間の勉強と経験により専門性を高め、未来を支える人材「シビルエンジニア」を育てることを目標にしています。新しい施設の建設、道路の開通、地震や台風など、土木に関する話題やニュースが日々飛び交っています。このことからわかるように、生活に欠かせないのが「土木」という分野です。そんな「土木」を皆さんも一緒に学んでみませんか?

都市防災学

過去の自然災害での経験やデータを踏まえて、それを災害に強い都市づくり・まちづくりに活かしていく、被害想定やリスクマネジメントなどについて学ぶ分野。

◎研究テーマ

- ・ 地震リスク（物的被害、社会影響）の定量的評価
- ・ 災害情報の時空間解析と可視化

災害に強いまちづくりは 普段から住みよいまちづくり

将来は大学で学んだことを活かして社会に役立つ仕事をしたいと考えている方に、土木や都市防災はおススメです。震災時に高齢者が避難しやすいまちは、普段から高齢者も暮らしやすいまちと言えるでしょう。大学でそれを学ぶことで、きっと自分のやりがいも見つかると思います。



鳥澤一晃 准教授

防災水工学 海岸工学

津波や高潮などの主に海岸での水災害に関するリスクの評価手法を、数値シミュレーション技術や観測データを基に構築する分野。

◎研究テーマ

- ・ 津波数値計算に基づく津波リスク評価に関する研究
- ・ 相模湾における高潮の発生メカニズムに関する研究

大学生生活の貴重な時間で 様々な経験を積んでください

大学での4年間の生活は、人生の中でも比較的自由な時間が持てる貴重な時期です。大学に入学し、良く学び、良く遊びましょう。自由な時間が多い分、悩むことも多くなるかもしれませんが、様々な経験を積むことが必ず将来に繋がります。当コースと一緒に頑張りましょう!



福谷陽 准教授

コンクリート工学 維持管理工学

橋やトンネルなどのコンクリート建造物の劣化要因を知り、健全であるか診断する技術や補修方法について考える分野。

◎研究テーマ

- ・ コンクリートの維持管理
- ・ コンクリートの補修・補強

夢や目標を持って 取り組む姿勢を身に着ける

これから大学で学ぼうとしている皆さんには、ぜひ夢や目標を持っていただきたい!土木に限らず、どの分野でも「楽しさ」は見つけられるはず。広い視野を持ち、チャレンジ精神あふれる新入生に期待しています。



出雲淳一 教授

地球科学

地球上では降水や降雪、地震の発生、火山の爆発など様々な自然現象がみられる。それらの現象のメカニズムや法則性、観測方法などを学ぶ分野。

◎研究テーマ

- ・ 地表付近における地震動の性質について
- ・ 地震・間欠泉などの現象の解明

完成していないからこそ 見えるすばさがある

毎年県や市役所の方にご協力いただき、一般公開していない施工中の現場を見学させてもらっています。安全・品質管理の行き届いた現場には施工途中だからこそ見えるすばさがあります。学生の皆さんにはこういった体験型の授業を通じて成長してもらいたいですね。



前田直樹 教授